

令和4年度 北区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和5年2月24日（金）午後2時15分から午後4時10分まで
会 場	北地区コミュニティセンター2階 大ホール
出席者	北区自治協議会委員：21名（欠席9名） 事務局：4名（特別支援教育課長、学校支援課指導主事、北区教育支援センター所長、北区教育支援センター指導主事） 北区役所関係者：16名（区長、副区長兼地域総務課長他） 傍聴者：1名
議 事	1 説明 （1月26日開催予定の北区教育ミーティング中止のため、自治協の報告事項として説明） （1）特別支援教育について ※説明者：特別支援教育課長 （2）部活動の段階的な地域移行の考え方について ※説明者：学校支援課指導主事 ※（1）（2）の説明内容は会議資料を参照
議 事	2 質疑応答
自治協会長	ありがとうございました。ただいまの説明に皆さんからご質問とかご意見がありましたら受けたいと思いますけれども。
自治協委員	すみません。1点だけ。多分、指導員という形で地域から選抜するという形になると思うのですけれども、その人たちの資格とかそういうものはどのような形で考えておられるのでしょうか。
学校支援課指導主事	ありがとうございます。部活動の土日の指導にかかわるとい部分ですね。
自治協委員	はい。
学校支援課指導主事	先ほども申しましたが、子どもたちの志向によってその指導体制も変わってくると思っています。競技性の高いレベルを目指すということであれば、それに応じた指導者ということになるかと思えますし、子どもたちと一緒にレクのような形で、近隣の友達が集まって体育館でレクのような動きをするということであれば、そういう指導者が必要になるかと思っています。そうになると、一律で全員に資格といえますか、そういうライセンスが必要かどうかというあたりも今検討しているところでございます。中体連の大会参加も今は緩和が進んでいるところでして、ただ種目によって指導者のライセンス

	<p>がどのくらい以上とか、認められて何年以上というようなあたりがまだばらつきがあるというような状況ではあると思うのです。全中を目指すような組織となってくると、ある程度の資格がそこには必要になってくるということで、その活動の中身によって指導体制も変わってくる、そのときにどのような指導者の育成が必要かというあたり、今後我々も検討していくところかなと考えています。</p>
自治協委員	<p>ありがとうございました。</p>
自治協会長	<p>ほかに質問などは。</p>
自治協委員	<p>ありがとうございました。2点ありますが、特別支援教育という点ですが、私、大学に今所属していますが、専門職を……まず、特別支援教育課というものができたということが、すごく明るいニュースだなと思っております。一方で、実は特別支援学校とか学級の先生方から、こういう障がいをもっていろいろな身体の不自由やいろいろな心身的問題のある子をどうやって支援していけばいいのかと言って、実は我々の団体にかなり要望がきています。ただ、そのときに我々も、いろいろな病院とか施設に勤務しながらということになると、やはり簡単に言うとボランティアとしては派遣できないということで、現場の先生方の要望がある中で、なかなかその専門職とマッチングするところが予算も含めてうまくできていないというのが新潟の中でかなり課題が見えてきているということで、何を言いたいかというと、やはり我々のような、我々だけではないのですけれども、そういう専門職をぜひとも活用していただいて、もちろん予算も含めた中でのシステムづくりをしていただけると大変いいことができるなと感じました。</p> <p>もう1点は、部活動に関連するところなのですが、実は、今私もこの近隣の病院で仕事もしているのですが、実はスポーツをしている子どもたちの怪我が大変多いのです。そこに来る子どもたちを見ると、遠くは村上からとか、けっこう遠くからたくさん来てくれて、それをよく見ると、体づくりで体に合っていない運動をしたり、怪我とか痛みを出さないためのケアがしっかりできれば多分そういうことにつながらないという子がけっこういるということを感じています。ですので、これもやはり運動するということと、予防するという、ケアをするということセットにしてやられると、より新潟の部活動移行、あるいはこういう運動に移行していくときに、より怪我も少なく、そういったことで集中できるのではないかと思いますので、ぜひとも今後ご配慮いただきたいと思います。</p>
自治協会長	<p>今の質問に。</p>

特別支援教育課長	<p>特別支援教育についてです。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>実は先週の土曜日、特別支援教育フォーラムということで、約 330 名の方にオンラインと対面で参加していただいて、ステージ上では医療、福祉、教育とさまざまな立場の方がパネルディスカッションを行い、時間も短くて意見も限られていたのですが、その皆様、あと大学の方もいらっしゃいましたが、その方々から、令和5年度から、特別支援教育の懇話会というものを設けてまして、特別支援教育に関してのさまざまな意見をいただいて、我々がよりよい方向を見つけていこうということ。そしてその中でも、切れ目ない支援をしていくためには、さまざまな立場の方から参加していただく必要がある、その仕組みをつくっていこうということで、まだ本当に1歳にも満たない産声を上げたばかりの課ですので、これから皆様からの意見をいただきながら、専門の方から知見をいただきながら、少しずつよりよい方向を探っていきたいと思っています。ありがとうございます。</p>
学校支援課指導主事	<p>先ほど、ご意見ありがとうございました。確かに、子どもたちが楽しむ中で、怪我をして終わるとか、そういうことは一番望まない道だと考えています。過熱し過ぎる部活動指導ですとか、補助がないままに取り組ませるとか、そういうことではない、子どもたちが安全に取り組めるものが第一となるような取り組みになるように、私たちも検討を進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。</p>
自治協会長	<p>ほかに質問、ご意見はありますか。</p> <p>なければ、この件については終了したいと思いますけれども。教育委員会の皆様、大変ありがとうございました。</p>
議 事	3 閉会